

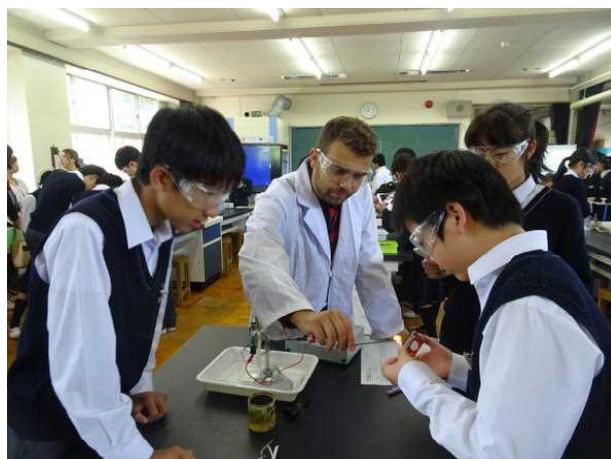
2年次で、英語で理科の授業が実施されました。

◆今号の記事は、2年次主任の岡野先生（英語担当）が書いてくれました。

2年次の理科の授業で、ALT（外国語指導助手）のリズヴィッチ先生の**英語による説明**で、実験結果を導き出すという**SSH（スーパーサイエンスハイスクール）**ならではの「**クロスカリキュラム授業**」が実施されました。

いつものように理科室での授業が始まると、説明をしてくれたのは、リズヴィッチ先生で、生徒たちも「**驚き**」があったようです。実験内容や授業のゴールを、全て英語で説明されたため、戸惑いもありましたが、実験器具や映像をヒントに、内容を理解して実験に取り組んでいました。**専門的な理科の用語**も入ってくるため、英単語自体は難しかったかもしれませんが、理科の予備知識が理解を助け、どのグループもしっかりと実験結果を導き出していたことに**感心**しました。また、**グループの仲間と助け合う姿**にも、大きな学びを感じました。

今後も「クロスカリキュラム授業」は展開していきますが、レベルを徐々に上げていき、最終的には、生徒が「**実験結果を英語でプレゼンできる**」ことを目標にしています。もちろん、2年次でのゴールではなく、年次が上がるにしたがってレベルを上げていきます。「**Be a top learner !**」の**校是**のもと、**英語がツールとして使える**ように、英語の授業だけではなく、他教科においても**活用の場**を設けた授業を構成しています。



◆「**英語による理科の授業**」を**2年次（中2）**で実施するところが、本校の先進性です。多少高いハードルでも**チャレンジ**することに大きな意義があると思います(^_^)!!